

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの情報を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	診療録と画像を統合した医療情報の AI を想定した二次利用可能性に関する検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	医療情報学講座 教授 木村映善
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年3月31日
対象	2023年10月以降に愛媛大学医学部附属病院の皮膚科を受診された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、皮膚画像データ、診療録 等
研究の概要	<p>これからの AI には画像データだけではなく、様々な医療情報を広範に学習させて、診断性能を強化したり、診断やサマリーの文章を自動生成したりして医師事務作業の効率化に貢献することが期待されています。しかし、我が国においては、画像あるいは検査結果のみの匿名化は行われていますが、様々な医療情報を統合した状態でも安全に扱えるかはまだ未知数のところがあります。本研究にて患者様の情報を匿名化し、ステークホルダーで安全性を評価することを試みることを通して、これからの AI の研究に安全なデータの取扱いについて検証、提言していきます。</p> <p>具体的には、国が次世代医療基盤法下に認定した認定事業者に医療情報を渡し、匿名加工と、医療情報を認定された利用者のみが検索できるシステムのプロトタイプの開発を行っていただきます。匿名化された医療情報とシステムに対して、大学の研究者を中心に有用性、安全性の評価を行って参ります。この研究の間、システムが外部に公開されることはありません。</p>
個人情報の取扱	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いた

い	<p>します。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。また匿名加工については国に認定された次世代医療基盤法の認定事業者に委託することで、安全管理に努めてまいります。</p> <p>また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部医療情報学講座 木村映善 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5695</p>

**【共同研究について】**

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、東京農工大学の清水研究室に送られます。個人情報の安全性を確保した上で、皮膚科領域の他領域 AI の開発の検証に使用されます。研究終了後は、データは安全に破棄されます。

**【研究組織】**

研究代表者	愛媛大学. 医療情報学. 教授 木村映善
共同研究機関	東京農工大学. 工学研究院. 教授 清水 昭伸
	東北大学. 皮膚科. 学術研究員 志藤 光介 東北メディカル・メガバンク機構. 講師 小島 要